

2023

感恩奉仕
Gratitude and Service

ファクトブック

データでみる 九州ルーテル学院大学



九州ルーテル学院大学
KYUSHU LUTHERAN COLLEGE

- | | | |
|--------------|------------|-----------|
| 1. 基本理念・教育目標 | 6. 就職・進路支援 | 11. 国際 |
| 2. 沿革 | 7. 教育 | 12. 地域連携 |
| 3. 学生数 | 8. 学生支援 | 13. 施設・設備 |
| 4. 入学状況 | 9. 学生生活 | |
| 5. 卒業後の進路 | 10. 研究 | |

各種データは、原則として2023年5月1日を基準としています。

一校章の意味―



キリスト教精神「感恩奉仕」を基礎に全人格を磨く

学問の府を意味するペンをかたどった校章の中心には、ルター（ルーテル）紋章に刻まれている十字架の心を単純化した“赤い丸”が配されています。
この一点こそが、学院の原点「霊育」でもあります。
大学を巣立つ皆さんが「神様の恩恵に感謝し、神と人に仕え（奉仕する）＝感恩奉仕」に生きる
ことこそが、九州ルーテル学院の理念であり、使命であると考えています。

1. 基本理念・教育目標

基本理念

- ①建学の精神“感恩奉仕”に則ったキリスト教主義の人格教育
- ②幅広い教養教育と専門領域における高度な教育研究
- ③福祉と社会・文化の向上に資する人材の育成

教育目標

グローバルな視野とボランティア精神を培い、専門に関する基礎を身につけ、バランスの取れた判断のできる、人間性が豊かで対人的配慮を有した人材の育成を図ります。

- ①志を高く持ち、継続的に努力をする人
- ②確かな倫理観を持ち、社会・文化の向上に貢献する強い意志を有する人
- ③本学の理念と特色を理解し、学ぶ意欲の強い人

研究に関する基本方針

- ①研究の組織的取組強化による価値の創造と地域貢献
- ②大学間連携等の共同研究の強化による社会との連携

地域連携・社会貢献に関する基本方針

- ①教育研究の成果として、蓄積する知的及び人的な資源を積極的に社会へ還元
- ②地域社会、公共団体・教育機関・産業界、国際社会等、多様な場での交流の促進
- ③地域の知の拠点として、公開講座、オープンカレッジ等、多彩な社会人教育プログラムによる生涯学習の推進に寄与
- ④グローバルな視野やマインドを身に付け、国際社会で活躍できる人材の輩出

2. 沿革

年代		沿革
1908	明治41	米国ペンシルバニア州のインマヌエル・ルーテル教会で「日本に女学校をつくるために」5ドルが献金された。
1926	大正15	1926(大正15)年 キリスト教主義の女学校として九州女学院(5年制)(初代院長マーサ・B・エカード)開校 その後、九州女学院中学校(1947年)、九州女学院高等学校(1948年)、九州女学院幼稚園(1948年)を設置  開校当時の校舎(現高等学校本館)
1975	昭和50	九州女学院短期大学 開学
1997	平成9	九州ルーテル学院大学 開学 人文学部人文学科(入学定員150人・男女共学)  短大学舎(現大学1号館)  初めての大学入試
1998	平成10	九州女学院短期大学 閉校(廃止)
2004	平成16	人文学部 人文学科(入学定員75人)及び 人文学部 心理臨床学科(入学定員75人) 設置  最後の卒業式
2006	平成18	九州ルーテル学院大学大学院 開学 人文学研究科障害心理学専攻(修士課程)(入学定員5人)
2007	平成19	人文学部人文学科 キャリア・イングリッシュ専攻(入学定員35人)及びこども専攻(入学定員40人)設置
2010	平成22	人文学部人文学科 こども専攻を保育コース(定員30人)と児童教育コース(定員10人)に改編
2014	平成26	こころとそだちの臨床研究所 開設
2016	平成28	九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園 開園
2017	平成29	人文学部人文学科こども専攻(入学定員50人:保育コース定員30人 児童教育コース定員20人)及び心理臨床学科(入学定員65人)に変更
2018	平成30	公認心理士養成課程認可
2022	令和4年	人文学研究科公認心理士養成課程開設 人文学研究科障害線理学専攻(修士課程)(入学定員5人)
2023	令和5年	人文学部人文学科 保育・幼児教育専攻 入学定員30人 児童教育専攻 入学定員35人設置 人文学部心理臨床学科 入学定員50人変更 幼稚園教諭一種免許・小学校教諭一種免許・特別支援学校教諭一種免許(知的障害者)(肢体不自由者)(病者)の課程認定

3. 学生数

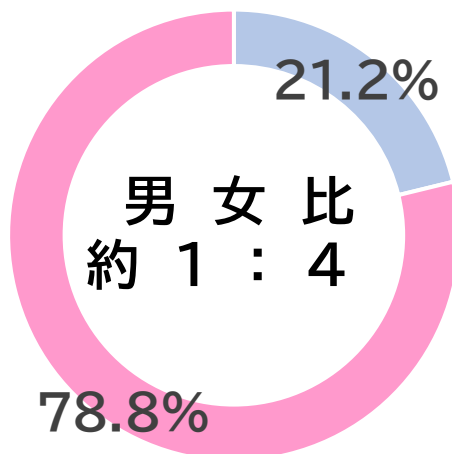
2023年度

人文学部

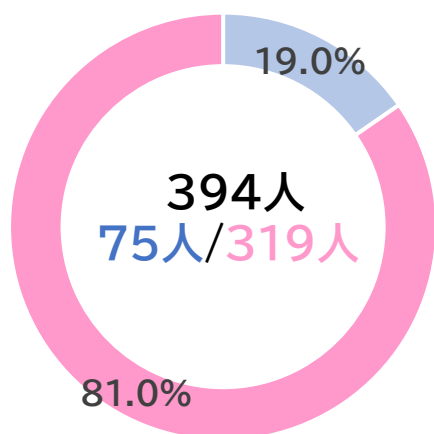
675人

女子学生 532人

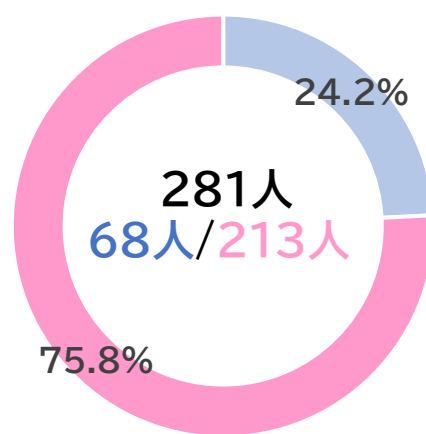
男子学生 143人



人文学科



心理臨床学科



100%

人文学研究科 10人

10人

総数: 685人

人文学科 394人
心理臨床学科 281人
人文学研究科 10人

4. 入学状況

熊本県内からの進学率**97%以上**

2023年度

志願者 388人
入学者 160人

長崎 1人
熊本 156人
宮崎 1人

その他 1人

沖縄 1人

菊池・山鹿
玉名・荒尾
21人

阿蘇 1人

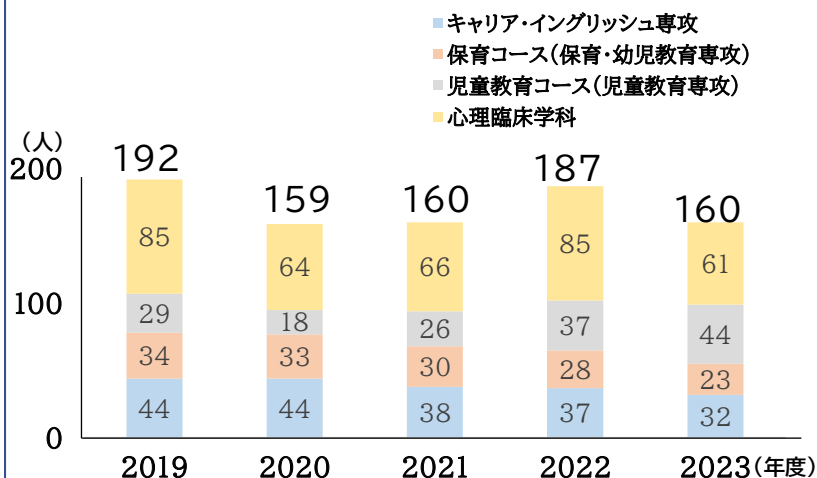
熊本市内
110人

宇城・益城
8人

八代・葦北
水俣・人吉・
球磨
9人

天草
7人

学科専攻コース別入学者推移



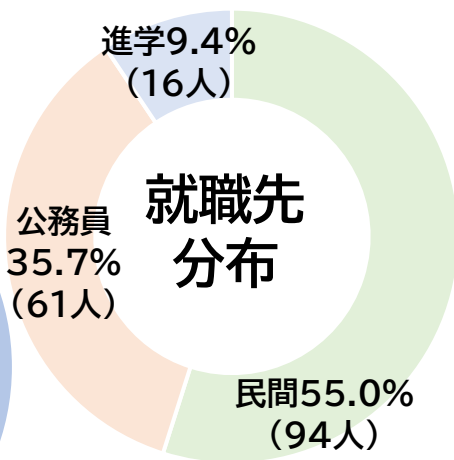
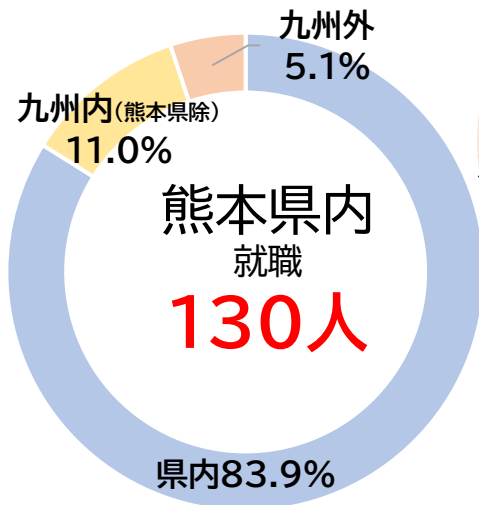
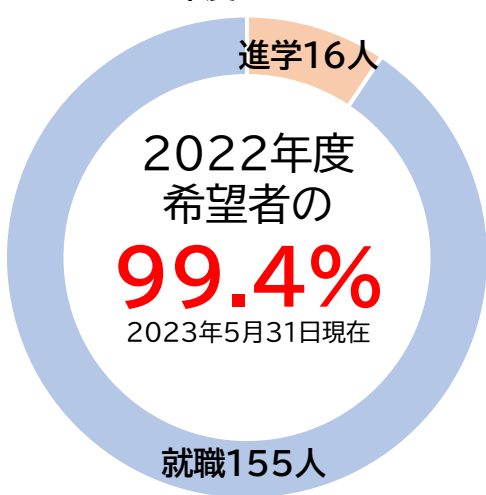
2023年度学科再編により
児童教育コースは児童教育専攻、保育コースは保育・幼児教育専攻に名称変更しました。

2023(令和5)年度 人文学研究科(大学院) 志願者・入学者内訳(人)

定員	志願者	入学者	倍率
5	15	5	3.0
入学者属性(人)			
区分	志願者	合格者	入学者
一般	12	5	4
社会人	3	1	1
外国人	0	0	0
合計	15	5	5

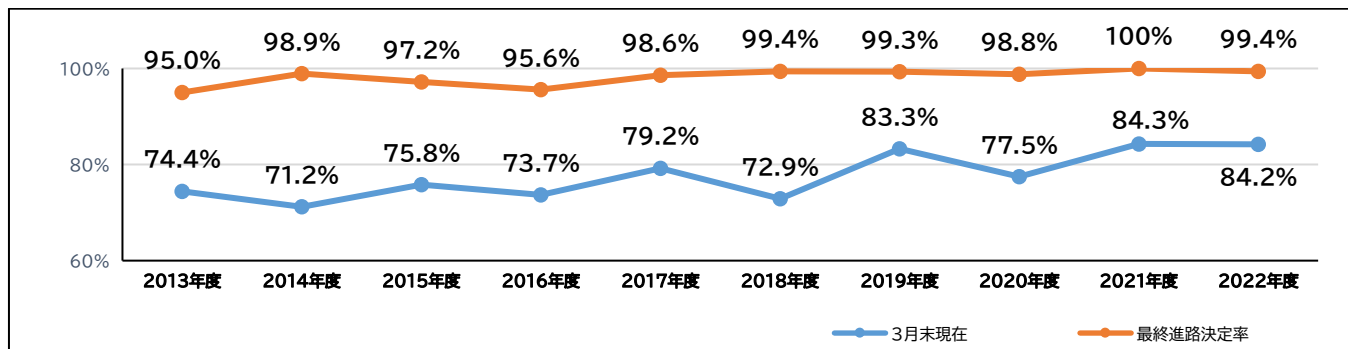
5. 卒業後の進路

2022年度



学科専攻コース	就職先
人文学科 キャリア ・イングリッシュ 専攻	(株)肥後銀行(1)(株)熊本銀行(1)熊本国際空港(株)(1)JALスカイ九州(1)熊本空港警備(株)(1)九州産交プランニング(株)(1)日本リモナイト(株)(1)株)再春館製薬所(1)ネットヨタ熊本(株)(1)株)ハウディ(1)株)丸菱ホールディングス(1)株)ツツミ(1)株)虎屋(1)株)コスモス薬品(1)株)天水総合カンパニー(1)株)アーキテクトディベロッパー(1)株)INGNI(1)株)シアーズホーム(1)株)ネクスステージ(1)株)アスロスクイーン(1)株)ふくや(1)株)南星機械(1)株)LAVA International(1)熊本機能病院(1) 小学校教諭(専任採用)(7) (熊本市(3)合志市(1)(玉名市(1)(小国町(1)菊陽町(1)) 中学校教諭(臨時採用)(4) (熊本市(1)(福生市(1)芦北支援(1)熊本県立盲(1)) 進学(2):熊本大学大学院(1)、西日本アカデミー航空専門(1)
人文学科 こども専攻 保育コース	熊本市立保育園(4)、宇土市立幼稚園(1)福岡市立保育園(1)認定こども園・保育園・幼稚園(21)公務員(2) 民間(3)
人文学科 こども専攻 児童教育コース	小学校教諭(専任採用)(21) (熊本市(6)合志市(2)八代市(4)荒尾市(2)菊池市(1)菊陽町(1)南関町(1)山鹿市(1)阿蘇市(1)宇城市(1)始良市(1)) 小学校教諭(臨時採用)(3)(熊本市(1)南島原市(1)大津町(1)) 民間(2) 進学(1)熊本大学大学院(1)
心理臨床学科	医療・福祉・施設 熊本大学病院(2)国立病院機構九州グループ(1)くまもと心療病院(1)城ヶ崎病院(2)菊池有働病院(2)弓削病院(1)桜ヶ丘病院(1)益城病院(1)くまもと南部広域病院(1)慈愛園子どもホーム(1)八代ナザレ園(1)他10名 民間 (株)熊本銀行(1)(株)熊本放送(1)(株)再春館製薬所(1)(株)熊本計算センタ(1)株)RKKCS(1)他15名 公務員 宮崎県(1)大牟田市(1)合志市(1)他21名 進学:九州ルーテル学院大学大学院(3)兵庫教育大学大学院(1)鹿児島大学大学院(1)福岡女学院大学大学院(2)久留米大学大学院(1)他5名

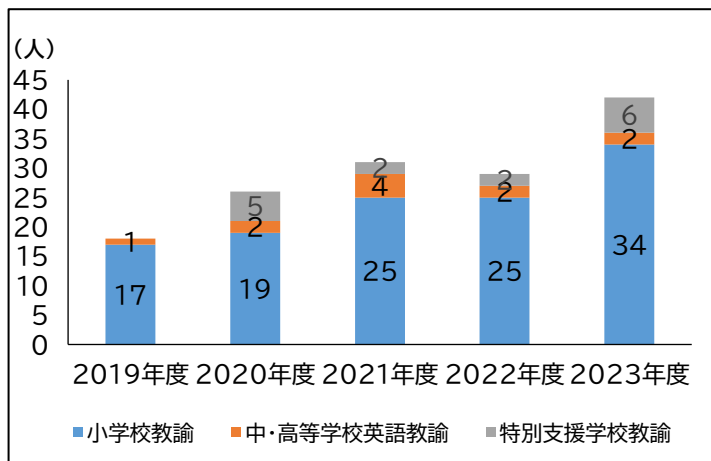
○就職率推移表



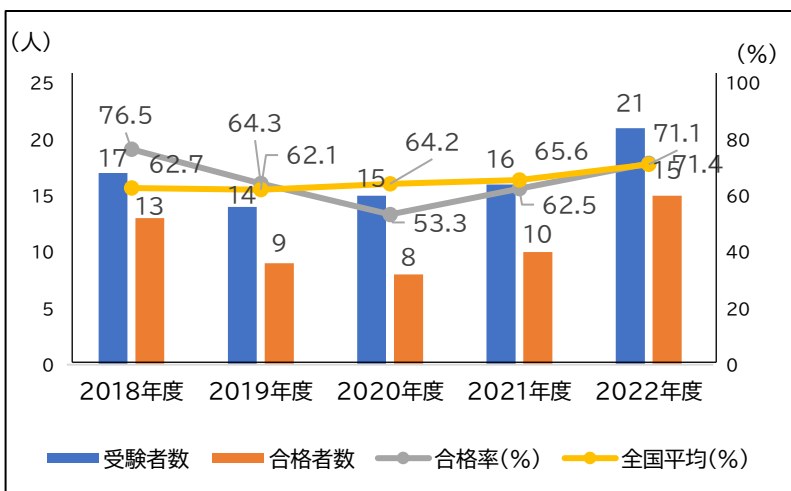
(1) 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭採用推移



模擬授業の様子



(2) 精神保健福祉士合格者推移

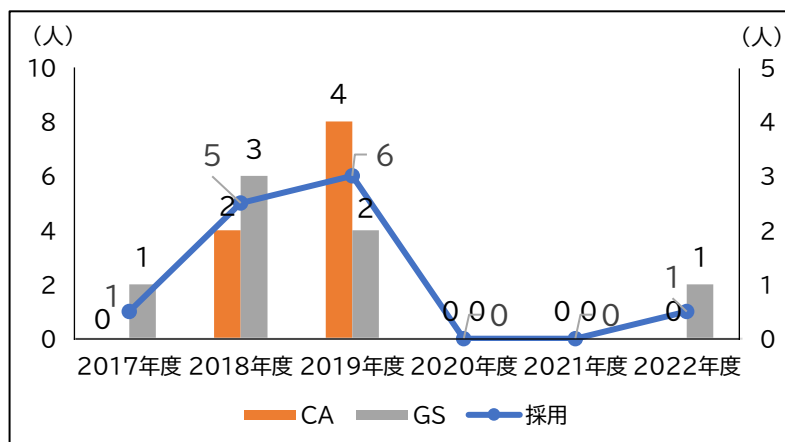


精神保健福祉試験対策勉強会の様子

(3) キャビンアテンダント・グランドスタッフ内定者推移



エアライン入門講座の様子



6. 就職・進路支援

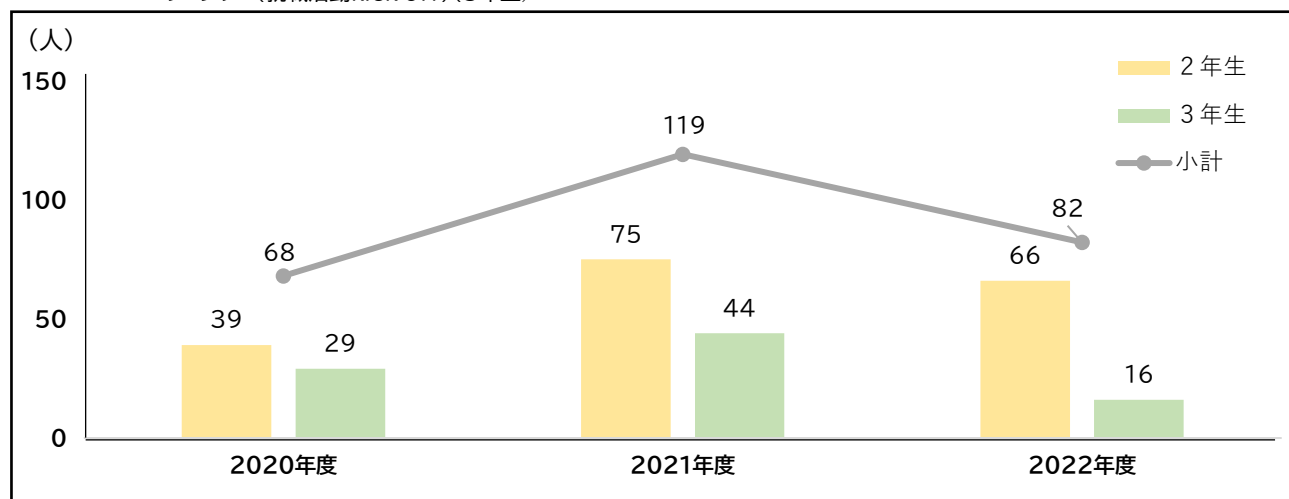
(2) 就職ガイダンス



ペプ・ラリー(就職活動kick off)(3年生)

講座開設状況(2022年度)

講座名	回数	対象
就職対策講座	15	2年生から4年生
教員採用試験対策講座	40	3年生から4年生 受験希望者
精神保健福祉士 国家試験対策講座	31	4年生 受験希望者



インターンシップ： 地方自治体から、福祉、病院、マスコミ、銀行、保険、運輸等幅広い職種の体験が可能

(3) 資格取得等の状況(2022年度)

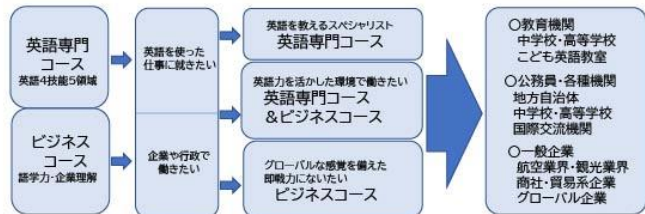
資格名	受験者数	合格者	率(%)	備考
TOEIC(730点以上)	166	2	1.0	参考:英検準1級と同等
保育英語検定	1	1	100	3級
Word文書処理技能認定	42	32(5)	76.2	()は、1級合格者
Excel表計算処理技能検定	10	9(0)	90.0	()は、1級合格者
サービス接客検定(2級)	33	34	97.0	全国平均 73.6%
ビジネス実務マナー検定(2級)	4	9	44.4	全国平均 61.2%
秘書検定(2級)	40	62	64.5	全国平均 59.4%
精神保健福祉士	21	15	71.4	全国平均 71.1%

7. 教育



人文学科 キャリア・イングリッシュ専攻

2つの履修モデルコースにより、進路イメージの明確化を図り「夢と学び」をつなぎます。



特徴

●2つの履修モデルコース

2つのPBL(問題解決型)科目があり、グローバル化する社会に必要なクリティカルな思考力、自ら考え行動する力、他者と問題解決する能力や企画力を養います。
「プロジェクト・ベースド・ラーニング」では、連携機関において継続した複数回のインターシップやサービスマーケティングを実施し、提供された課題を解決します。
「プロジェクトデザインⅠ～Ⅱ(新設)」では、自分たちで課題やチャレンジしたいことを見つけ、プロジェクトを組み立て、完成させます。

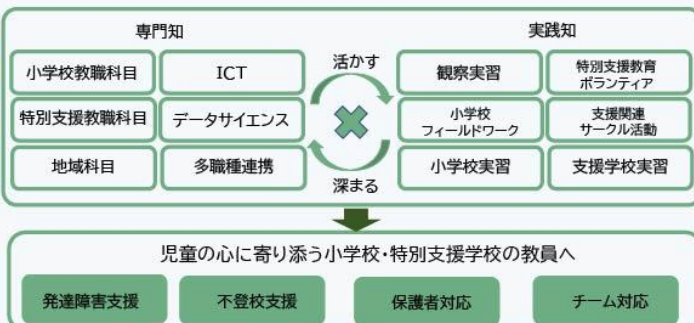
●プロジェクト・ベースド・ラーニング

2つのPBL(問題解決型)科目があり、グローバル化する社会に必要なクリティカルな思考力、自ら考え行動する力、他者と問題解決する能力や企画力を養います。
「プロジェクト・ベースド・ラーニング」では、連携機関において継続した複数回のインターシップやサービスマーケティングを実施し、提供された課題を解決します。
「プロジェクトデザインⅠ～Ⅱ(新設)」では、自分たちで課題やチャレンジしたいことを見つけ、プロジェクトを組み立て、完成させます。



人文学科 児童教育専攻

小学校と特別支援学校の教員免許を取得し、児童に寄り添う気持ちと実践力を身につけた教員へ



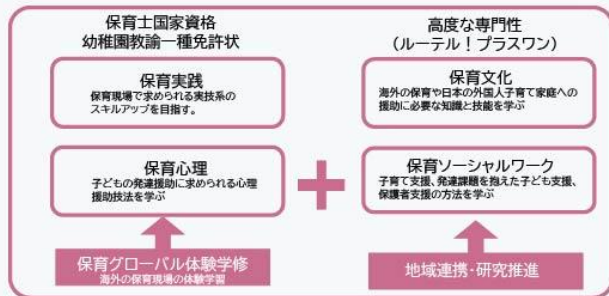
特徴

●特別な支援が必要な児童等に適切な指導・支援ができる教師を養成するために「小学校教諭一種免許状に関する科目」と「特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)に関する科目」をバランスよく履修します。
●4年間を通して地域の小学校または特別支援学校での教育・支援活動に取り組み、日常の授業準備、指導や校務等を含む学校生活の流れや対応について学びます。特に、教師が児童一人ひとりの実態を適切に把握し、授業のユニバーサルデザイン化をはじめとする多様な手立てを講じながら教育活動を展開していることを体験・体得します。
●先進的学校の振興や教育行政担当者による教育の実態に関する講話等を通して、グローバルな教育現場に対応できる国際理解力や、地域の児童教育の実態および教育課程を総合的に把握する能力を身につけます。
また、本学卒業生の現職教員との交流を通して縦のつながりを強固にすることで、教育力のさらなる養成につなげます。



人文学科 保育・幼児教育専攻

現代の社会と保育現場に求められる資格+免許+専門性(ルーテル! プラスワン)をすべて備えた保育者へ



特徴

●初年次において、保育者としての「人」に関する教養教育を主として、保育・幼児教育についての基礎的な学修をします。3年次より高度な専門性(ルーテル! プラスワン)を取り入れた専門教育を配置し、レイト・スペシャライズ型の教育プログラムとして、学生が学びながら選択していくことを可能とします。
●大学付属の黒髪乳児保育園や併設のルーテル学院幼稚園、保育ソーシャルワーク研究所と連携し、保育の知識・技術と同時にソーシャルワークの知識・技術を学び、子育て(保護者)支援や配慮が必要な子どもの保育やソーシャルワークの視点から学修します。
●4年間を通して、施設見学や保育実習・教育実習、国内外でのフィールドワーク等多様な現場での体験を重ねることで、学内で学んだ基礎知識や理論をもとに、海外の保育事情や子ども・子育て支援のあり方を実践的に学修します。
●実習や演習を多く取り入れた学修形態を導入し、ピアノ等の音楽表現や運動遊び等の身体表現について学修します。本学の特色である少人数教育ならではの取組みとして、一人ひとりの習熟度に合わせた学修内容・方法を取り入れています。



心理臨床学科

心の悩みや病に対して、家族や地域などの背景にも焦点を当て、多面的にアプローチできる人材へ



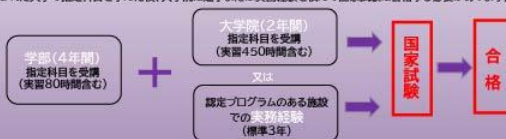
特徴

●大きな問題に直面したとき、応援してくれる人、一緒に考えてくれる人がいると安心します。心理職・ソーシャルワーカーの支援の原則は、心の悩みや病を抱えている人を中心に展開することです。その人の居場所(地域)を基盤とした医療・福祉・教育・産業・司法など多くの力で応援し、一緒に考えることで問題の陰に隠れている可能性が見えてきます。心のそばにいる心理職・生活のそばにいるソーシャルワーカーの連携から始まり広がっていくことで、心強いチームになることができます。心理臨床学科の学びの特徴は、多様な柔軟な連携のモデルとそれを支える人間を科学する学びです。

熊本県唯一の公認心理師養成機関

公認心理師になるには

認可された大学で指定科目を学んだ後、大学院に進学または実務経験を積んで国家試験に合格する必要があります。



7. 教育

共通教育		特色
	キリスト教教育	・キリスト教主義学校独自の必修科目 ・日々の礼拝や記念礼拝への参加
	グローバルスタディーズ	・社会のグローバル化、異文化理解、グローバル課題(SDGs)を学ぶ必修科目
	異文化体験(短期海外留学)	・海外で学べる複数の体験型プログラム(オンライン学修を含む)
	職場体験(インターンシップ)	・熊本県内外の企業と提携した職場体験学修(インターンシップ)
	AI・データサイエンス	
	単位互換科目	在学中最大5科目まで履修できる。

副専攻プログラム

「支柱の学びの幅を広げ深める」ことを目的に、学科・専攻の枠を越えた学びにより、視野を広げ専門性に磨きをかけていきます。

副専攻のプログラム

英語コミュニケーション副専攻 英語のコミュニケーション能力の向上を目指すと共に、英語での様々な情報収集の方法についても学んでいく。小中高でも取り組まれるSDG(SDGs: Sustainable Development Goals)をさらに発展的に学ぶために、情報収集力を高め、資料の分析ができる能力の向上を支援する。
保育・幼児教育副専攻 保育・幼児教育副専攻は、子ども理解の基礎となる授業科目によって構成されている。子どもを取り巻く社会環境や福祉制度について学び、また発達心理学的視点、社会学的視点等から子どもについて理解する。そして、保育・幼児教育の基本的な知識・理解とともに、保育現場で求められる基本的技能や態度を修得することを目的としている。
小学校教育副専攻 「保育士・幼稚園教諭・中学校教諭等を目指す学生を主な対象とし、本副専攻を履修する学生が小学校における教科内容を、その実践的技能等も含め、理解し獲得することを目的とする。 また特に、いずれかの教員免許状を取得予定の学生にとっては、大学での既修単位を活用した将来的な小学校教諭二種免許状の取得にも補助的に対応する副専攻として構成する。
発達障害支援副専攻 「知的症」、「限局性学習症」、「注意欠如多動症」、「自閉スペクトラム症」の理解や支援のあり方を理解することを通して、児童生徒の困難さの理由や、適切な関わり方を具体的に理解することができる。 加えて、これらの発達障害を有し、通常学級に在籍することもある「病弱者」の理解や支援についても学修を深めることを目的としている。
学校ソーシャルワーク副専攻 教員・カウンセラー・ソーシャルワーカーが協働して児童生徒を支える「チーム学校」を目標に、学校現場でソーシャルワークが果たす役割と機能を学び、協働できる力を培っていく。
カウンセリング副専攻 コミュニケーションスキルに関する基本的な理論と技術を学ぶとともに、心理学の立場から、社会を捉え理解する姿勢を培っていく。
心理社会調査副専攻 調査計画、心理社会的データの収集や分析に関する基礎的知識、統計的リテラシー、調査結果の可視化の実践的技能を身につける。そして、本副専攻の履修によって社会調査士の資格を取得することができる。

履修の流れ(2年次から)



人文学研究科	専攻	障害心理学(修士課程)
		障害心理学専攻
	特色	公認心理師として、さまざまな領域での心理支援ができる人材を育成する。
	免許・資格	公認心理師受験資格

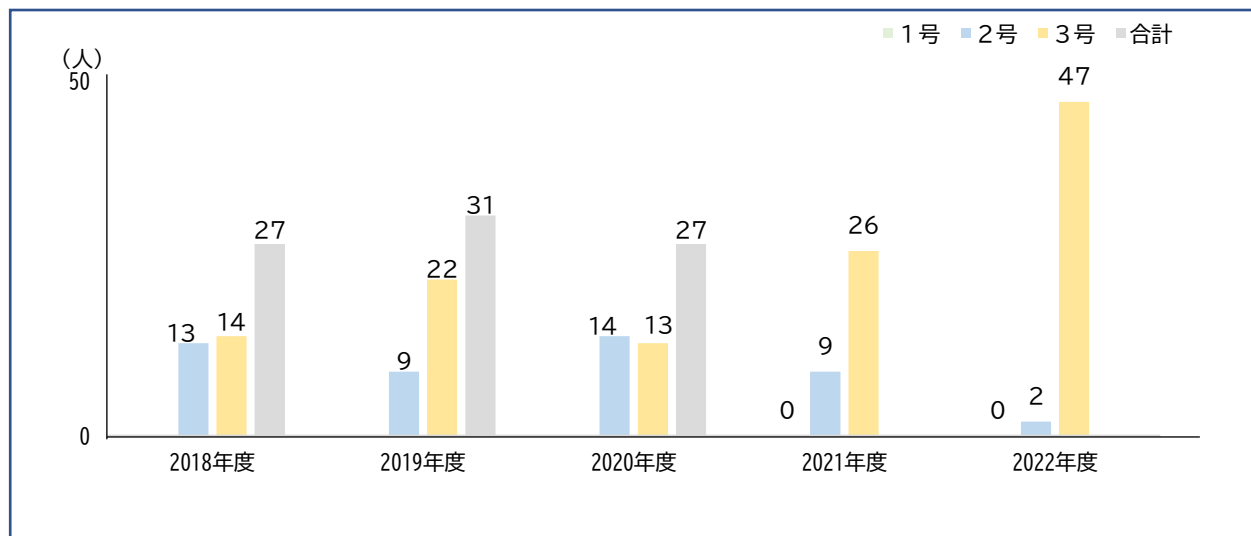


8. 学生支援

(1)九州ルーテル学院大学奨学金(通称KLC奨学金)

種別:給付型(返済の必要なし) 給付額:当該授業料に対する率

九州ルーテル学院大学奨学金給付状況



種別	給付額	人数	条件	実績 (2021)	実績 (2022)
1号	100%	2人以内	成績・品行・学生生活が特に優秀であり、かつ、他の学生の模範となり、経済的にも援助が必要とする者	0人	0人
2号	50%	各学年 4名以内	成績・品行・学生生活が優れ、かつ、他の学生と友好関係を保つことができ、経済的にも援助が必要とする者	9人	2人
3号	10万円	各学年 8名以内	特に経済的な援助が必要な者	26人	47人

※2022年度から現在の制度に変更しています。

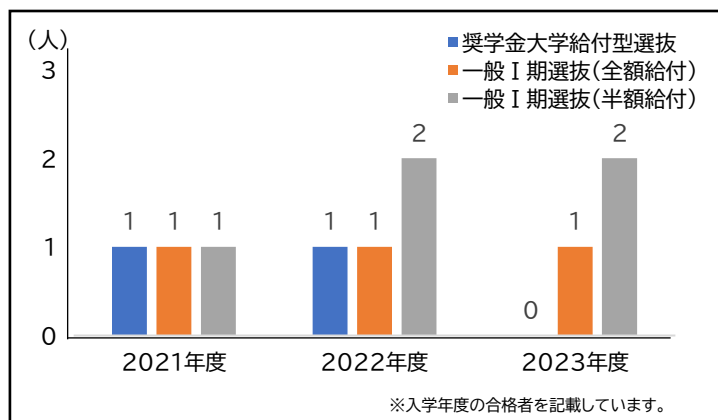
(2)入試制度による奨学金

○授業料全額給付入試

合格者は授業料を全額給付
(ただし、在学中の状況により取消になる場合あり)

○一般Ⅰ入試成績上位者 授業料給付制度

成績上位者若干名について授業料を
全額もしくは半額を給付する。
2021年度から授業料半額給付制度を開始
(ただし、在学中の状況により取消になる場合あり)



※入学年度の合格者を記載しています。

8. 学生支援

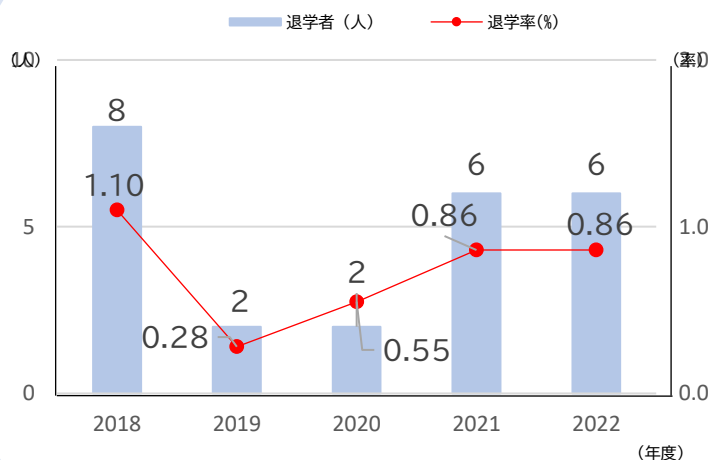
学生サポート

学生支援懇談会

年2回、学生の状況を大学内で、情報共有、卒業までのサポートを実施します。

カームダウン室の設置

障がいの有無にかかわらず、パニックになったり感情高まった際やその症に陥る前にホッと心を落ち着かせる場所として2021年から設置しました。



本学退学率 0.86%

算出方法: 退学者 ÷ (全学生 + 除籍者) × 100 (%)
(2021年度) 2023年3月 本学調べ



学内カウンセリング相談室

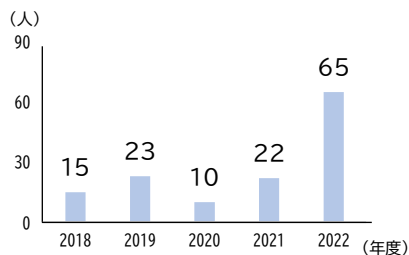
臨床心理士の資格を持つ外部カウンセラーを配置し、様々な悩みの相談を受け、学生生活がスムーズに送れるようにサポートします。

アドバイザー制 (クラス担任制)

入学時に約20名程度の学生グループを編成しています。

原則として同じ教員が4年間アドバイザーとして卒業後の進路を視野に入れつつ、きめ細やかな指導を実施します。

学内カウンセリング利用件数



健康相談窓口

新型コロナウイルス感染症の影響で不安や悩みを抱えている学生が一人で悩まないために2020年4月8日から学生支援課内に開設





学生サポート

障がい学生サポートルーム

- ・障がいのある学生の学生生活すべての相談窓口
- ・学生一人ひとりとの対話を重視し、必要な支援を行う

・学生へのサポート業務

- ・入学試験前の相談
- ・入学前の相談
- ・授業支援
- ・学生生活支援
- ・就職支援

・学生サポートボランティアの育成

- ・障がい学生の学びをサポートする
学生ボランティアチーム
“サポーターSHIP-S”
(2022年34名在籍)

支援内容

・移動支援

肢体不自由学生の教室移動や荷物をもって付き添うなどのサポート

・ノートテイク

障がい学生の代わりに授業内容を整理するサポート

・情報保証

聴覚障がい学生へ文字による情報保証サポート
パソコンテイク、UDトーク、映像文字起こし ほか

・その他

上記以外にも、一人ひとりにあった支援を行う

SUN-Kuma(Support University Network Kumamoto)学生交流会

- ・熊本大学と熊本学園大学、崇城大学、熊本保健科学大学と連携し、職員同時の情報交換や学生サポーター交流会

サポーターSHIP-Sについて

代表:宮崎彩乃さん(3年生)
(学年リーダー)
3年生:木下
2年生:西上へい
1年生:田上舞美さん
新体制となりました! リーダーを中心にこれから活動を継続していきます(♡)/

☆今後の活動予定☆
・卒業式、入学式、フィリア祭などイベントでの情報保障
・PCテイク、UDトーク、ノートテイク、移動支援など勉強会・練習会(定期的に開催します)
・他大学との交流会への参加
※情報保障が必要な場面などありましたら是非お声をください!!

2021年度の主な活動

☆サポーターSHIP-Sがついに…全国デビュー!!☆

第17回PEPNet-Japanシンポジウムへ参加しました。(オンラインで開催されました)シンポジウムの特別企画 プログラム企画「基礎講座:いまここをつなぐ～支援ルームふらっと探訪～」に本学のサポートルームから坂本課長、立山職員とともに、4年生の牧田美野里さんと高杉桃子さんが参加しました。支援現場の「今」を伝える企画で、当日は全国と本学をLIVE中継でつなぎ、本学の学生支援課の様子やサポート支援機器等の紹介を行ったほか、日ごろのサポートの様子を動画にまとめたものを配信しました。何度か会議を行いどうしたら自分たちの活動が伝わるか試行錯誤し動画作成を行いました。とても良い内容の動画を完成させ、当日のLIVE配信も「学生さんが自主的に素晴らしい!」と好評でした。

☆SUN-Kuma会議にて他大学の学生と意見交換会を実施☆

他大学での障がい学生サポートの現状や支援の方法、活動内容など意見交換を行いました。コロナ禍のため対面での開催はできませんでしたが、Zoomにて熊本大学、熊本学園大学の支援学生と交流をもてたことでとてもいい刺激をもらいました。本学がまだ取り組みとしてきていないバリアフリーマップの作成についてや、利用学生とのかかわり方など他大学の学生から多くのことを学ぶことができて、今後の励みになりました。

※SUN-Kuma会議は…Support University Network-Kumamotoの顔文字をとって名付けたもの、熊本の障がい学生サポート部門もつ大学のフランクな情報交換の場です。



9. 学生生活

クラブ・個人活動等

文化系サークル
ダウン症支援部
自閉症支援部
くれよん部
他8団体

運動系サークル
軟式野球部
他9団体

チャペル委員

聖歌隊
ハンドベル
オルガニスト



ハンドベル



聖歌隊

特色のある活動

聖歌隊	礼拝堂を中心としたミニコンサート
ハンドベル	入学式・卒業式・キリスト教関連イベント

2022年度 実績

金曜教室

緑のリボン賞(熊本日日新聞社)

国際ソロプチミスト熊本ーさくら学生ボランティア賞



緑のリボン表彰((金曜教室))



金曜教室メンバー



さくら学生ボランティア賞((金曜教室))

2021年度 実績

金曜教室

「障害者の障害学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰

坂上 陽菜

熊本県知事賞(一席)『文化財と教育で伝承する災害記憶 ～「ハート事業」の提案～』
大学コンソーシアム熊本地域創造部会主催, 熊本県・熊本市共催による「課題解決のための政策アイデアコンテスト」



文部科学大臣表彰((金曜教室))



熊本県賞(坂上陽菜)

10. 研究

(1) 研究助成金等

① 2023年度科学研究費補助金採択事業(継続・分担者含)

氏名	事業名	期間	研究費区分	直接経費(千円)
坂本昌弥	理科教育における指定記念物を活かした地域の教材化とその方法の確立	2021-2025	基盤研究C	3,200
三井真紀	フィンランドの保育における多文化共生の原理－学び・政策・まなざし	2021-2024	基盤研究C	2,700
赤井秀行	数学科における一人一台端末を活用した協働的な学びの現実に関する実証的研究	2023-2026	基盤研究C	3,600
増本利信	読み困難児の支援のための文章提示調整アプリケーションの開発	2023-2026	基盤研究C	3,600
久崎孝浩	2歳児の他者の心の理解に対する内受容感覚・客体的自己・母子相互作用の発達の貢献	2023-2026	基盤研究C	2,100
岡田洋一	ネット依存症の課題に対応した家族教室のプログラム作成	2018-	基盤研究(C) (分担者)	—
岡田洋一	アルコール依存症者の「回復の物語」をその家族はいかに経験するのか	2019-	基盤研究(C) (分担者)	—
岩永靖	子どもの課題スクリーニングから支援・効果まで循環するシステム構築	2019-2024	基盤研究(A) (分担者)	—
久崎孝浩	仲間の認知に関わる就学期の情動発達と学校適応の縦断的検討	2022-2026	基盤研究(C)一般 (分担者)	—
赤井秀行	パターン認識を育む幼小接続期の算数プログラムの開発に関する実証的研究	2022-2026	基盤研究(C)一般 (分担者)	—
三井真紀	多文化保育における保育者の「困り感」改善モデル構築：人材育成・方法・ネットワーク	2023-2026	基盤研究(B)一般 (分担者)	—

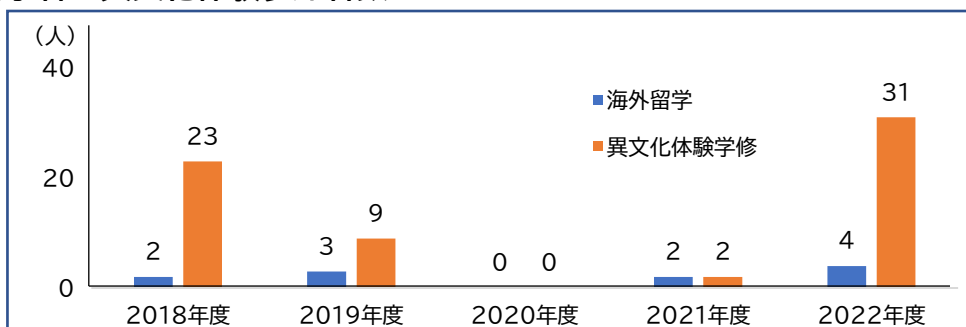
※研究代表者のみ、採択時点の総額を記載しています。

(2) 学内競争的資金

年度	研究テーマ	研究者
2020	英語運用能力評価問題と学習者の成績との関連性	島内 直英
	英語ライミングワード等を活用した小学校外国語における英語文構造の指導法	松本 充右
	保育施設におけるオンライン研修・各種会合の有効性と実効性に関する研究	永野 典嗣
	遠隔による子育て支援活動の可能性－フィンランド移民コミュニティにおける意義と役割－	三井 真紀
	英語能力の差異が日本語を母語とする大学生の英語精読時の眼球運動様相に与える影響	増本 利信
2021	理科教育における指定記念物を活かした地域の教材化とその方法の確立	坂本 昌弥
	フィンランドの保育における多分化共生の原理－学び・政策・まなざし	三井 真紀
	慢性痛に対するマインドフルネストレーニングの有効性の検証	有村 達之
	子どもの課題スクリーニングから支援・効果まで循環するシステム構築	岩永 靖
	多文化保育における保育者の「困り感」改善モデル構築：人材育成・方法・ネットワーク	三井 真紀
2022	データサイエンス教育推進のためのWeb&AI課外講座の教育効果検証	久崎 孝浩
	保育者(保育を学ぶ学生を含む)および子育て中の親を対象とした保育ソーシャルワーク研修(オンライン)の試み	永野 典嗣
	1人1台端末によるコミュニケーションを通じた中学校数学科における資質・能力の向上	赤井 秀行
	フィンランドにおける睡眠を中心とした健康に関する予防教育の実践について	高野 美雪
	読み困難児支援のための文章提示調整アプリケーションの開発	増本 利信

異文化体験・海外留学制度

(1) 海外留学生・異文化体験参加者数



2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず

(2) 奨学金制度

制度名	内容	対象	返済義務
ムラサキスポーツ奨学金制度	バートン&サウスダービシャーカレッジへの留学希望者	2名/年	なし
海外留学奨学金制度	異文化体験学修プログラム参加者のうち語学研修者のみ	10万円 最大5名/年	なし
海外体験学修奨学金制度	異文化圏での体験を通じて英語を学習する者	最大20万円 10名/年程度	なし

(3) 海外留学参加者 一覧

	大学名	国	2018	2019	2020	2021	2022
1	Sunway University(サンウェイ大学)	マレーシア					
2	Induk University(インドク大学)	韓国		1			
3	Burton & South Derbyshire College (バートン&サウス ダービシャーカレッジ)	イギリス	2	2		2	4※
4	Flinders University(フリンダース大学)	オーストラリア					
	合計		2	3			0

(4) 異文化体験学修参加者 一覧

	大学名・機関名・プログラム名	国	2018	2019	2020	2021	2022
1	Grunewald Guild(グリーンウォルド ギルド)	アメリカ	1				
2	アシスタントティーチャーインターンプログラム	アメリカ	4	2			
3	Sunway University(サンウェイ大学)	マレーシア	3	4			
4	Flinders University(フリンダース大学)	オーストラリア	6				
5	Curtin University(カーティン大学)	オーストラリア	5	3			6
6	Burton & South Derbyshire College (バートン&サウス ダービシャーカレッジ)	イギリス	4			2	7
7	India(日本福音ルーテル社団)	インド	2				
8	University of Waikata(ワイカト大学)	ニュージーランド				2	1
9	Cambodia(日本福音ルーテル社団)	カンボジア		1			
10	フィンランド研修	フィンランド					16
11	幼稚園アシスタントティーチャーボランティア	オーストラリア					1
	合計		23	9	0	4	31



異文化体験・海外留学制度

2020年～2021年度は、オンラインで実施していましたが、
2022年度から、授業の一環として、異文化体験学習、海外留学が、ヨーロッパ、オセアニアを中心に再開されました。

2022年度から、ヨーロッパは、イギリスの他、フィンランドが加わりました。



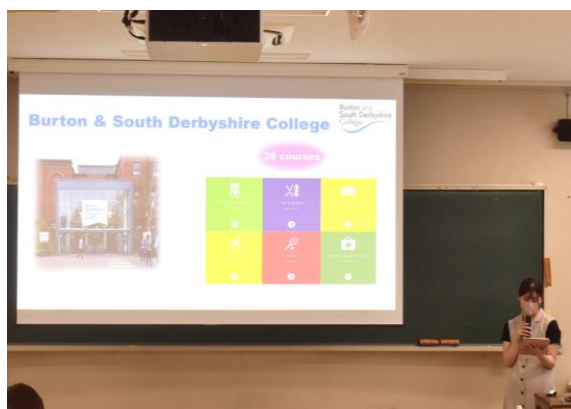
2022年度
異文化体験学習、海外留学参加者（イギリス）



2022年度
異文化体験学習、海外留学参加者（フィンランド）

○異文化体験発表会

プログラムの参加者は、それぞれの留学先について、事前学習と帰国後の成果を発表します。



2022年度異文化体験学修・海外留学参加者の事前発表



2019年度異文化体験学修・ボランティア体験学修・海外留学参加者

○異文化体験・海外留学の授業科目

（2022年度実施及び実施予定の一例）

1. 海外留学

イギリス / Burton & South Derbyshire大学
@Burton Upon Trent
時期：9月～1月 期間：4か月

2. 異文化圏体験学修

イギリス / Burton & South Derbyshire大学
@Burton Upon Trent
時期：8月～9月 期間：4週間
オーストラリア / Curtin大学 @Perth
時期：2月～3月 期間：4週間
オーストラリア / 日本語教師ボランティア or
企業インターンシップ
時期：2月～3月 期間：4週間

3. 短期異文化圏体験学修

1) フィンランド研修

@Helsinki他(グループ行動・引率有)
時期：8月～9月 期間：1～2週間

2) ニュージーランド

/ Waikato大学：オンライン

時期：8月8～9月 期間：連続2～4週間

12. 地域連携

(1) 公開講座実施状況

外部機関での公開講座

2022年度 外部機関での公開講座

講座名	主催	受講方法
子どもたちの頑張りを理解しましょう	大学コンソーシアム熊本 くまもと県民カレッジリレー講座 「キャンパスパレア」	対面
地域の家族見守り サポーター養成講座	合志市 女性・こども支援課	対面及びオンライン
Let's play in English	託麻まちづくりセンター	対面

2022年度 公開講座

講座名	担当	受講方法
Travel English Conversatison Class	アクストン	WEB公開(中止)
親子サイエンス大実験カレッジWeb版	坂本昌也	WEB公開
障がいのある学生の就学生支援に関する講演会	学生支援課	オンライン
保育者のコミュニケーションスキルアップ研修	永野典嗣	オンライン

(2) 包括連携協定

① 地方自治体との包括連携等

自治体名	主な活動内容	締結日
菊陽町	・小学校外国語活動学生ボランティア派遣	2010年6月
合志市	・ソーシャルワーカー派遣 ・地域の家族活動見守サポーター養成講座(昼・夜)	2014年11月
和水町	・こどもフェスティバルin和水 ・イングリッシュキャンプin和水 ・なごみ物産展inルーテル	2016年 4月
菊池市	・「こころの問診票」の実施(菊池市内小中学校) ・菊池市不登校対策研修会講話	2019年3月

② 学校との包括連携等

学校名	主な活動内容	締結日
熊本大学	・数学・統計学・データサイエンス教育の連携 ・学修効果に関する情報共有	2019年12月
ルーテル学院大学	・研究プログラムの共同構築 ・教育課程の共同構築・実施	2019年 1月
熊本県立ひのくに高等支援学校	・園芸活動 ・交流会	2018年 7月
熊本大学	単位互換に関する協定	2023年3月

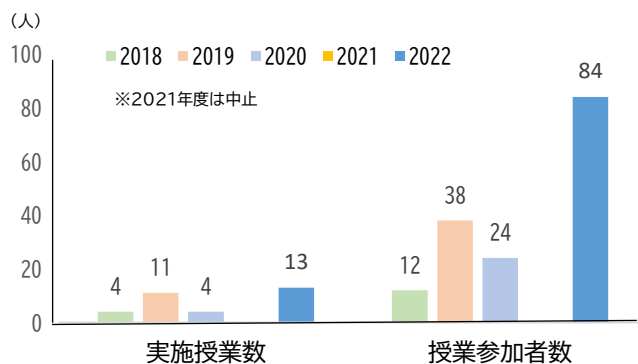
12. 地域連携

(3) 高大接続・連携

大学キャンパスVisit&Try

高校生が、「大学での学びやサークル活動」に触れ、知的好奇心の喚起や大学教育への円滑な接続の機会にするとともに、進路選択の一助とする。

(2018年度からルーテル学院高等学校と実施)



2022年度 実施状況

授業名	目標	受入人数	参加人数
幼児保育Ⅰ	乳児期の発達と指導者の目的を理解する	10	14
異文化理解	異文化理解について学んできたことや、グループディスカッションを通して、どのような気づきや収穫があったかについて、学生たちが発表する授業です。	8	9
図画工作科教育法	表現及び鑑賞の活動についての授業展開を構築し、活動案を作成できるようにする。	10	5
教育経営学(中高)	文科省・熊本県や市が求める教職員像を学習する。またSSWについて学習する。	10	5
精神科リハビリテーション学Ⅰ	ソーシャルワーカーの視点から心の病を持つ人たちのリハビリテーションについて学んでいきます。	5	10
英語で紹介する日本	College students will give a presentation to classmates about one topic covered in the course thus far. They will also react to classmate presentations with questions and comments.	10	7
学習・言語心理学	経験による人間の認知や行動の変化がどのように起こるのか、言語がどのように獲得されるのか、言語の障害がなぜ起こるのかを、理解、説明できるようになることが目標です	10	14
乳児保育Ⅱ	乳児期の発達と指導者の目的を理解する	10	2
保育原理	保育・幼児教育の原理を通して大人の役割を理解する	10	3
生徒指導論(小)	生徒指導の理念・教育相談・児童生徒理解	10	1
社会的養護Ⅰ	児童虐待の現状とその防止について学ぶ。また、社会的養護と虐待の意味を考え、子どもの権利が守られる社会とはどのようなものかを理解する。	10	1
教職論	本講義は教職の意義や特徴、教員の役割や求められる資質能力について理解することを目標としています。	10	7
教育心理学	いじめや不登校等の問題を理解すると共に、心理教育的アセスメントをどのように実施し対応するかを理解する。	10	4



授業風景



授業風景

12. 地域連携

(4)自治体等への協力^(一部抜粋)

内容	委嘱団体等	協力者
オハイエくまもと顧問	オハイエくまもと	松本 充右
公益社団法人熊本県精神保健福祉協会理事	公益社団法人熊本県精神保健福祉協会	
熊本市男女共同参画センターはあもにい運営審議委員	熊本市男女共同参画センター	
熊本県教育委員会スクールカウンセラー	熊本県教育委員会	緒方 宏明
菊池市児童生徒性暴力等対策連絡協議会委員	菊池市教育委員会	
鹿児島県立博物館協議会委員	鹿児島県教育委員会	坂本 昌弥
熊本県高等学校英語スキットコンテスト審査員	熊本県高等学校教育研究会英語部会	島内 直英
熊本県社会福祉審議会児童福祉専門分科会審査部会委員	熊本県社会福祉審議会	永野 典詞
八代市障害支援区分認定審査会委員	八代市	
芦北町教育委員会芦北町立星野富弘美術館運営協議会委員	芦北町教育委員会	犬童 昭久
(公財)大学基準協会大学評価委員会大学評価第5分科会委員	(公財)大学基準協会大学評価委員会	香崎 智郁代
熊本市(男女共同参画課)くまもと市男女共同参画会議委員	くまもと市男女共同参画会	
第39回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト審査員	熊本県商業英語教育研究会	パトリック・ハンク
熊本県高等学校英語スキットコンテスト審査員	熊本県高等学校教育研究会英語部会	
やまと高等学校学校運営指導委員	やまと高等学校学校	岡村 健太
一般財団法人熊本市文化スポーツ財団評議員	一般財団法人熊本市文化スポーツ財団	水町 愛
(公財)医療系大学間共用試験実施評価機構OSCE外部評価者	(公財)医療系大学間共用試験実施評価機構OSCE	有村 達之
鹿児島市教育委員会調査委員会委員	鹿児島市教育委員会	岡田 洋一
熊本市就学支援委員会総合部会員	熊本市教育委員会	河田 将一
熊本市教育委員会特別支援教育専門家チーム委員	熊本市教育委員会	
熊本市北部地域発達支援ネットワーク代表	熊本市北部地域発達支援ネットワーク	
熊本県立ひのくに高等支援学校運営指導委員会委員	熊本県立ひのくに高等支援学校	栗原 和弘
宇土市教育委員会教育支援委員会委員	宇土市教育委員会	
熊本市教育委員会学識経験者の意見聴取	熊本市教育委員会	
有明広域行政事務組合障害者総合支援審査会委員	有明広域行政事務組合	古賀 香代子
熊本県精神保健福祉審議会審議会委員	熊本県精神保健福祉審議会	石坂 昌子
宇土市教育委員会スクールソーシャルワーカー	宇土市教育委員会	岩永 靖
(公財)熊本県学校保健会メンタルヘルス対策委員会委員	(公財)熊本県学校保健会	
熊本県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー	熊本県教育委員会	
熊本県教育委員会いじめ問題対策連絡協議会委員	熊本県教育委員会	西 章男
社会福祉法人やまびこ福祉会理事	社会福祉法人やまびこ福祉会	
NPO法人くまもと支援の会理事	PO法人くまもと支援の会理事	
熊本県ハンセン病問題相談支援センター相談員	熊本県ハンセン病問題相談支援センター	
九州地区大学軟式野球連盟理事	九州地区大学軟式野球連盟	増本 利信
熊本市就学支援委員会自閉症・情緒専門部会委員	熊本市教育委員会	
障害児審査委員会委員	熊本県教育委員会	
学校いじめ調査委員会委員	熊本県教育委員会	疋田 忠寛
いじめ問題等緊急支援員	熊本県教育委員会	
「いのちを支えるくらしと心の悩みの相談会」相談員	熊本県障害者支援課	

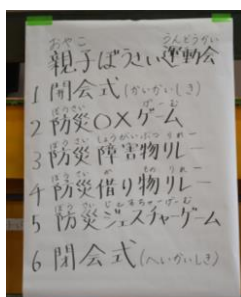
12. 地域連携



2021年から、「防災や災害支援を通じて、ルーテルの生徒・学生、教職員が地域社会の一員として役割を担い、コロナ禍で希薄化した地域の世代間のつながりを強めることで、災害に強く安心できるまちづくりを目指す。」ことを目的に、本学所在地の地域住民やNPO法人、自治会、中学、高校、大学と一体となって、様々な活動を行っています。



城南町親子ぼうさい運動会打合せ



ぼうさい運動会



第4回黒髪12町内防災会議

ボランティア活動

2022年度 ボランティア実績(抜粋)

月 日	ボランティア先	ボランティア内容
12月18日	黒髪校区社会福祉協議会 子飼公園愛護会	こども食堂餅つき 焼き芋大会
12月17日	くまもと支援の会	おにぎり作り
10月8日	黒髪12町内ぼうさい運動会	運動会企画・運営・参加
7月3日	城南町親子ぼうさい運動会	運動会企画・運営・参加



こども食堂餅つき

活動実績

活動団体等	活動内容等	活動場所等
ダウン症支援部	ダウン症の方との療育活動と余暇活動	毎週土曜日 熊本県身体障がい者福祉センター 2020年度 YouTube動画配信
自閉症支援部	自閉症児の子どもたちへの療育活動	本学内 2020年度 YouTube動画配信
子育て支援部 「くれよん」	小学部と幼稚部に分かれ子育て支援活動を実施	土日を中心 リクエストがあれば県内どこでも
金曜教室 「発達障がいのある児童生徒の学習 支援活動」 心とそだちの臨床研究所(ジャンス)	LD、ADHD、高機能自閉症などの発達障がいのある小・中・高校生を対象として、本学学生・大学院生等による学習支援活動と、教員と外部の専門家による保護者支援の実施	毎週金曜日18:30-20:20 本学4号館、2号館
ルーテルかよう会	「ささえりあ浄行寺」と合同で介護予防教室を実施	毎週火曜日 本学ボランティアセンター
熊本支援の会	路上生活者へのおにぎり配り	12月
黒髪12町内の災害避難マニュアル作成委員会	黒髪12町内の地域住民と社会福祉士、本学学生による災害避難マニュアルの作成及び地域への提案	本学内

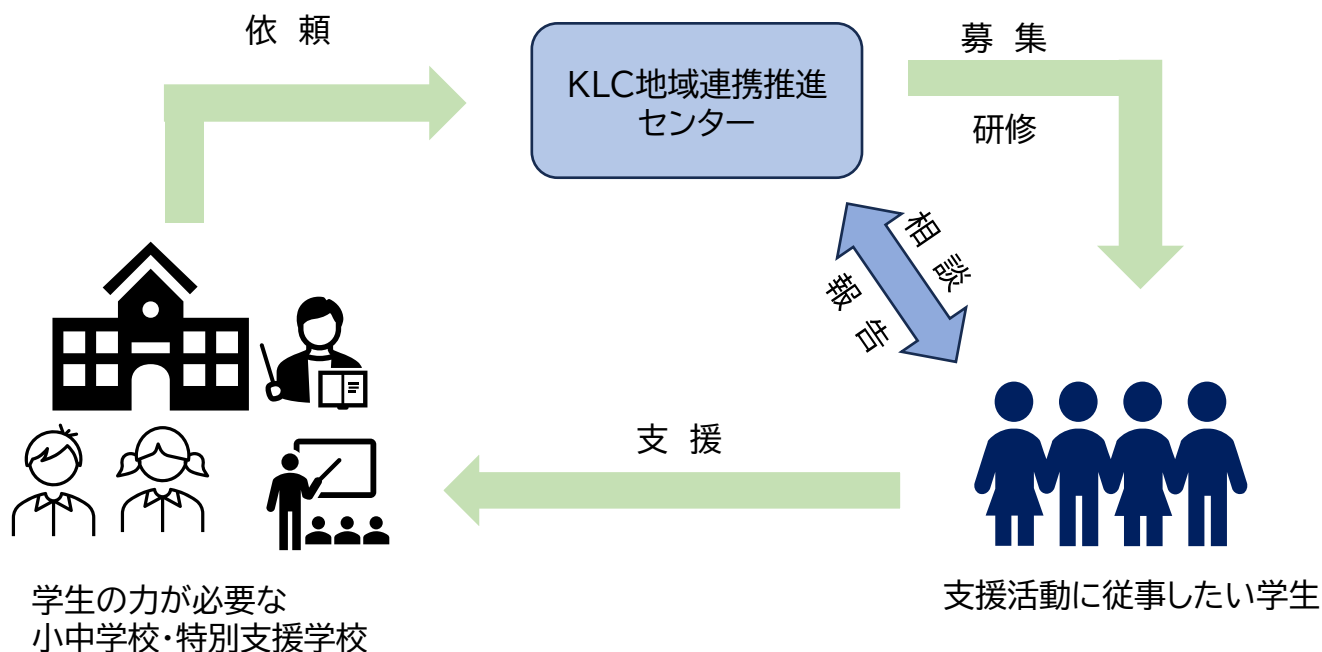
12. 地域連携

KLC子どもサポーター制度・KLC特別支援サポーター制度

子どもたちの支援を通じて成長したい学生と、支援を必要とする子どもたちへ力を貸してほしい学校との橋渡しを行う制度です。

2022年10月から開始しています。

2023年度からは、ひとり親家庭の放課後生活支援活動並びに登校しづらい児童生徒の家庭訪問活動も開始します。



活動実績（2022年度）

依頼状況	活動内容等	登録学生数(人)	派遣数(回)
小学校(熊本市立)	授業等の個別支援	8	5
小学校(熊本市立)	通常学級・支援学級における児童の学習支援	10	8
小学校(熊本市立)	特別支援学級児童への教室や交流学級での支援 通常学級での支援の必要な児童への学習サポート	2	13
小学校(熊本市立)	・学習支援 ・個別支援 ・話し相手 ・遊び相手 ・交流学級サポート ・学習サポート ・見守り ・他	4	2
小学校(熊本市立)	支援を要する児童へのサポート(主に通常学級)	4	4
支援学校(熊本県立)	午前 9:00~12:30 午後12:30~15:10 ※終日は昼食休憩あり	21	18
支援学校(熊本県立)	水泳時の支援 等	1	1

13. 施設・設備

(1) チャペル（礼拝堂）



座席数 585席

県内大学では
唯一の施設

クリスマス礼拝

(2) 学生ラウンジ



(3) 学生支援センター



(4) 図書館及び周辺



図書館 閲覧室

(5) 講義室



1404教室

(6) ラーニング・コモンズ



多目的ルーム（カウンセリング等に使用）



学院聖句

わたしが来たのは羊が命を受けるため、
しかも豊かに受けるためである。

(ヨハネによる福音書 10 章 10 節)

発行

九州ルーテル学院大学

〒860-8520

熊本市中央区黒髪3-12-16

TEL 096-343-1600(代表)

<http://www.klc.ac.jp/>

2023年8月1日